

第21回「議員と語り合い」報告書

3班国分西 (No.1)

開催日	平成28年11月10日(木) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	国分西の里コミュニティセンター		
団体名	国分西地区	参加人員	13人 (男12人:女1人)
出席議員	前島 広紀、平原 志保、中村 正人、前川原 正人、中馬 幹雄 植山 利博		
役割分担	班 長 (中村 正人) 副班長 (中馬 幹雄) 記録係 (植山 利博)		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆ライフガーデン国分の開店以降、鍛屋馬場通りの車の往来が多くなり、国分霧島線から鍛屋馬場通りへの車の出入りが大変多くなった。この通りは、道幅が狭いうえに路上に電柱が約150m間に8本あり、車の離合が困難であるので、電柱の移設又は地中化を要望する。

◇現地は、自治会長さんと一緒に18時頃のラッシュ時に確認をした。移設なり、地中化なり、また、道路規制等の何らかの対応が必要だと感じた。移設の場合、公道から公有地への移設なのか、民有地への移設なのか等、持ち帰って確認をしたうえで対応をする。また、地域まちづくり計画に掲載していただくことも必要だと思う。

◆JAバンクから山形屋の裏の用水路に蓋をして歩道として利用したい。

◇国分では、用水路の蓋占め事業を、年次的、計画的に行っているもので、順次実現できるものとする。このことも、まちづくり計画書に掲載してほしい。

◆タイヨー周辺の排水対策、側溝の整備を緊急に行ってほしい。

◇最近のゲリラ豪雨により、国分の中心市街地や隼人の日当山、姫城や見次地区等、霧島市のあらゆる地区で床上浸水や床下浸水などの被害が相次いでいる。抜本的な排水対策が求められており、議会においても、多くの議員が抜本的な排水対策や、排水路の整備等について議論を重ねている。市長はじめ、執行部においても、その緊急性と必要性については、十分に認識している。しかしながら、その実現には莫大な財源を必要とすることから、すぐできること、また、年次的、計画的に整備しなければならないこと等、整理しながら実施することとなると思う。今後とも、議会としてあらゆる機会を通じて、市長はじめ、執行部に対して、一日でも早い、その実現を求めていく。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆イノシシ、シカ等による農産物の被害は年々大きくなる一方である。有害鳥獣駆除を地区別の垣根を越えて、オール霧島で取り組んでほしい。また、駆除隊の一部に補助金等の不正受給があるとの噂もあるが、その検証と厳正な対応を求める。

◇今回の決算委員会の中でも、有害鳥獣被害の状況については、様々な議論があり、議会としても、その状況は把握をしている。また、不正受給の件も議論され、その実態の検証の必要性と、今後の対応についても議論がなされた。今後、更なる有害鳥獣駆除の充実強化と、補助金交付の厳正な取組を進めるように求めていく。

◆健康診断の結果を保健センターまで取りに来させて、説明や指導をするが、郵送で済ませてほしい。

◇健康診断の結果により、成人病や生活習慣病など、病気になる前に生活指導や食事、運動など、適切なアドバイスをすることにより、健康で病気にならない、なりにくい体質をつくらせてもらいたい。そのことが医療費の削減や国保税の引き下げなどにも繋がっていくことになる取組であるので理解してほしい。

◆国分寺跡の道路整備が28年度までで完了するとのことであったが、その後、何の連絡もない。

◇確認をしたうえで、東地区、西地区の方々に報告したい。

◆政務活動費の在り方について、全国でこれまで不正使用等が取りざたされているが、透明性を確保したうえで有効に活用してほしい。

◇霧島市は政務活動費に関して、その用途、領収書の処理等、しっかりと規定したうえで、以前は情報公開請求に応じて開示していた。現在では、いつでも誰でも閲覧できるようになっているので、全国でもトップクラスの厳格で公開性の高い状況だ。ただ、月額3万円、年間36万円のうち、多くの返還がある状況であり、ご指摘のとおり透明性を確保したうえで有効活用に努めたい。

◆自治会加入率が低下傾向にあるが、加入率向上対策を急げ。高齢者住宅の入居者は自治会加入できないので、加入できるようにすべきだ。

◇自治会加入率向上対策は、議会でも多くの議員が議論を重ねている。転入者に対して窓口での加入促進対策や集合住宅の入居に対し、不動産屋などとの連携など、今後も加入率向上に更なる取組を官民一体となり進めたい。また、清水公民館では、規約改正をして老人施設入居者も自治会加入ができるようにした。大学とも連携をとり、寮生270名全員が自治会に加入している。自治会費は免除しているとのことだ。